

夏休み期間中に補習学習を実施

H22.8 / 2~6



初日から大勢の児童が、補習学習に参加しました。学級担任は、保護者との個人面談をしているため、フリー職員で指導に当たりました。

補習学習教室のよさは、自分の希望で参加することです。「自分の課題を克服したい」という向上心があるため、学習への集中度も高いです。



学習場所は、クーラーのある図書館です。テーブルが大きいので、B4用紙のプリントを広げても、他の勉強道具がこぼれる心配がありません。その分、学習に集中できていました。

一人一人の課題やつまずきに対応するために、保護者のボランティアも指導に当たってくださいました。忙しい中でのボランティアに感謝するばかりです。





「自分の課題を克服したい」という向上心を秘めているからこそ、自発的な教え合いも生まれます。子ども同士の教え合いには、「子どもの言葉だからこそ分かる」という現象も生じる可能性があります。

子どもたちの回答を点検するのも、結構な時間と労力を要します。職員ばかりでなくボランティアの参加があって、非常に助かっています。



クーラーがあるとはいえ、図書館の席がすべて埋まるほどの人数のため、それにみんなの熱気のために室温は上がり気味です。時々、額から目に流れてくる汗を拭く場面もありました。



2日目からは、クーラーのある校長室も活用することになりました。「校長室にはいるのは初めて！」等の反応があり、なかなか好評の勉強部屋となっていました。

